

2021年5月20日
JR東日本スタートアップ株式会社
株式会社 SQUEEZE

JR 東日本スタートアップと SQUEEZE が資本業務提携を締結 ホテル事業の DX 及びスマートホテル展開にむけて連携

JR 東日本の子会社でベンチャーへの出資や協業を推進する CVC の JR 東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田 裕、以下「JR 東日本スタートアップ」）と、宿泊産業のデジタル・トランスフォーメーションを推進する株式会社 SQUEEZE（代表取締役社長 CEO：舘林 真一、以下「スクイーズ」）は、JR 東日本グループのホテル事業の DX 化推進、及びスマートホテル事業での更なる顧客体験の向上にむけて、資本業務提携することを合意しました。



◆ホテル事業の DX 化をベースとしたニューノーマルな顧客体験に向けて

JR 東日本グループは、数多くのホテル施設・宿泊施設を展開しています。しかしながら、コロナ禍において宿泊業界は大きな打撃を受けており、業務効率化・省人化は喫緊の課題となっております。また、単なる効率化だけではなく、ニューノーマル対応の中では、非接触・非対面のオペレーションなどの新たな顧客体験の創出が必要です。

こうした中で、JR 東日本グループは、スクイーズの自社施設でのクラウド運営ノウハウや DX ソリューションを活用し、非対面チェックイン（モバイルチェックイン）などの実証実験を行ってまいりました。この取り組みを拡大させ、ホテル事業のさらなるスマート化を推進するため、今回の資本業務提携に至ったものです。今後はこの連携を通じて、鉄道利用と宿泊利用のシームレスな顧客体験を追求し、よりパーソナライズされた旅の提供を目指していきます。

◆株式会社 SQUEEZE とは

「空間と時間の可能性を広げるプラットフォームになる」という企業ビジョンのもと、2017年にホテル・民泊などの宿泊事業者向け運営 SaaS である「suitebook」の提供を開始。ソリューション事業として、スマートロック販売事業や宿泊施設のデータ分析など、顧客が必要とするあらゆるサービスをワンストップで提供できる体制を整備してまいりました。また、スマートホテル事業として「Minn - ミン」、「Theatel - シアテル」というブランドのもと、直営ホテルも展開。運営のノウハウや課題をシステム開発にもフィードバックする両輪のモデルで事業展開をしています。自社ソリューションを用いた次世代クラウド型宿泊施設の企画・運営を通し、宿泊産業のデジタル・トランスフォーメーションを目指してまいります。

所在地	東京都港区北青山 3-3-7 第一青山ビル 3 階
代表者	代表取締役社長 CEO 舘林 真一
設立	2014 年 9 月
事業内容	遊休不動産・宿泊施設に対するソリューション事業およびスマートホテル事業
企業 URL	https://squeeze-inc.co.jp/

JR 東日本スタートアップ株式会社とは

JR 東日本スタートアップ株式会社は、JR 東日本グループとスタートアップ企業との共創を推進するコーポレートベンチャーキャピタルです。

所在地：東京都港区高輪 2-21-42 TokyoYard Building 7F

代表者：代表取締役社長 柴田 裕

株 主：東日本旅客鉄道株式会社（100%）

設立日：2018 年 2 月 20 日

出資枠：50 億円

連絡先：E-mail info@jrestartup.co.jp

ホームページ <https://jrestartup.co.jp>



あなたの夢を未来へつなぐ
『明日』創造ステーション